

運用報告書 (全体版)

第1期<決算日2023年1月16日>

One円建て債券ファンドⅡ 2022-09

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2022年9月5日から2028年1月14日までです。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	円建ての各種債券(海外で発行される円建ての債券を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	国内外の企業が発行する円建ての債券(劣後債等を含みます。)、円建てのソブリン債(国債、国際機関債、政府関係機関ならびに地方自治体が発行する債券)を主要投資対象とします。投資する債券は、取得時においてBBB格相当以上(BBB-も含みます。)の格付けを取得している債券、もしくはそれらと同等の信用力を有すると判断される債券を投資対象とします。主として、当ファンドの信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる債券に投資します。原則として、当ファンドが投資を行う債券は満期日または繰上償還日まで保有することで、金利変動リスクを低減し、安定した利子の獲得をめざします。ただし、信用リスク、利回り向上等の観点から、満期日前または繰上償還日前に保有債券を売却する場合があります。保有債券が信託期間中に満期償還される場合、繰上償還される場合、または償還日前に売却される場合には、信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる別の債券に投資する場合があります。運用にあたっては、債券の発行体の信用力、バリュエーション、流動性等に基づき投資魅力度の高い銘柄を選定しながら、分散投資によりリスクの低減を図ります。当初設定時および償還準備に入った場合には、組入資産の流動性等を考慮して、円建てのソブリン債への組入比率を高める場合があります。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使、株主割当または社債権者割当により取得したものに限り行えるものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。外貨建資産への投資は行いません。デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に基づき当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	決算日(毎年1月14日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：円結びⅡ 2022-09

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One円建て債券ファンドⅡ 2022-09」は、2023年1月16日に第1期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 値 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率			
(設 定 日) 2022年9月5日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 10,067	
1期 (2023年1月16日)	9,842	0	△1.6	98.0	-	11,882	

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 値 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率		
(設定日) 2022年9月5日	円 10,000	% -	% -	% -	
9月末	9,987	△0.1	63.4	-	
10月末	10,011	0.1	98.1	-	
11月末	9,946	△0.5	98.1	-	
12月末	9,825	△1.8	98.0	-	
(期 末) 2023年1月16日	9,842	△1.6	98.0	-	

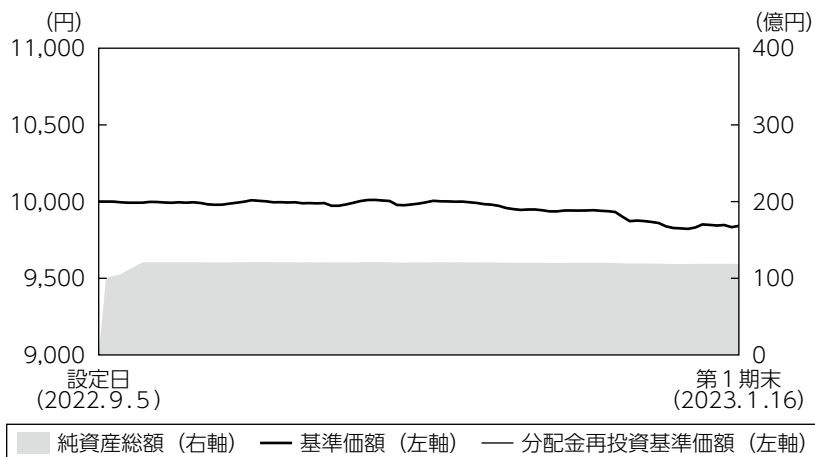
(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2022年9月5日から2023年1月16日まで）

基準価額等の推移



設定日： 10,000円
第1期末： 9,842円
(既払分配金0円)
騰落率： $\Delta 1.6\%$
(分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

欧米の金融政策正常化による利上げ観測や、2022年12月には日銀がサプライズ的にイールドカーブコントロール（長短金利操作）政策を修正し、10年国債利回りの許容する変動幅を拡大したことを受け金利が上昇（価格は下落）し、社債のスプレッド（利回り格差）も拡大基調となったことから、基準価額は下落しました。

投資環境

社債市場のスプレッドは、拡大しました。世界的に金融政策正常化の加速が意識され投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、新発債の供給圧力が根強いことによる利回り水準修正の動きなどから、社債の利回りは上昇（価格は下落）しました。

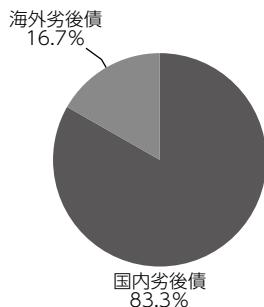
ポートフォリオについて

信用力を重視した銘柄選択とダウンサイドリスク（保有資産が損失を受けるリスク）を抑制する分散投資を行いました。

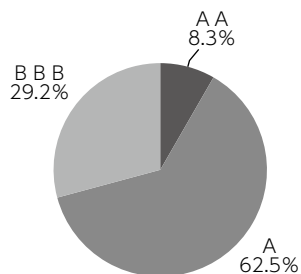
【運用状況】 2023年1月16日現在

(注) 組入比率は当ファンドが組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

○債券種別構成比



○格付別構成比



(注) 格付は、格付機関（S & P、Moody's、JCRおよびR & I）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略して表示しています。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年9月5日 ～2023年1月16日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	23円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

信用力を重視した、慎重なポートフォリオ運営を継続する方針です。日銀および各国の金融政策・財政政策の動向、ウクライナをはじめとした地政学リスク、新型コロナウイルスの感染動向等が企業の業績や信用力に与える影響等を考慮しながら、財務内容が健全で投資妙味が高いと判断する銘柄を厳選して保有いたします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2022年9月5日 ～2023年1月16日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	20円	0.198%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,956円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(9)	(0.093)	
(販売会社)	(9)	(0.093)	
(受託会社)	(1)	(0.012)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(0)	(0.000)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	20	0.198	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 当ファンドの信託報酬率は、約款の定めにより、以下の料率が適用されています。（詳しくは10ページをご覧ください。）

・設定日～2022年10月20日（ポートフォリオ構築完了日から起算して3営業日）：年率0.341%（税抜0.31%）

・2022年10月21日～償還日：年率0.539%（税抜0.49%）

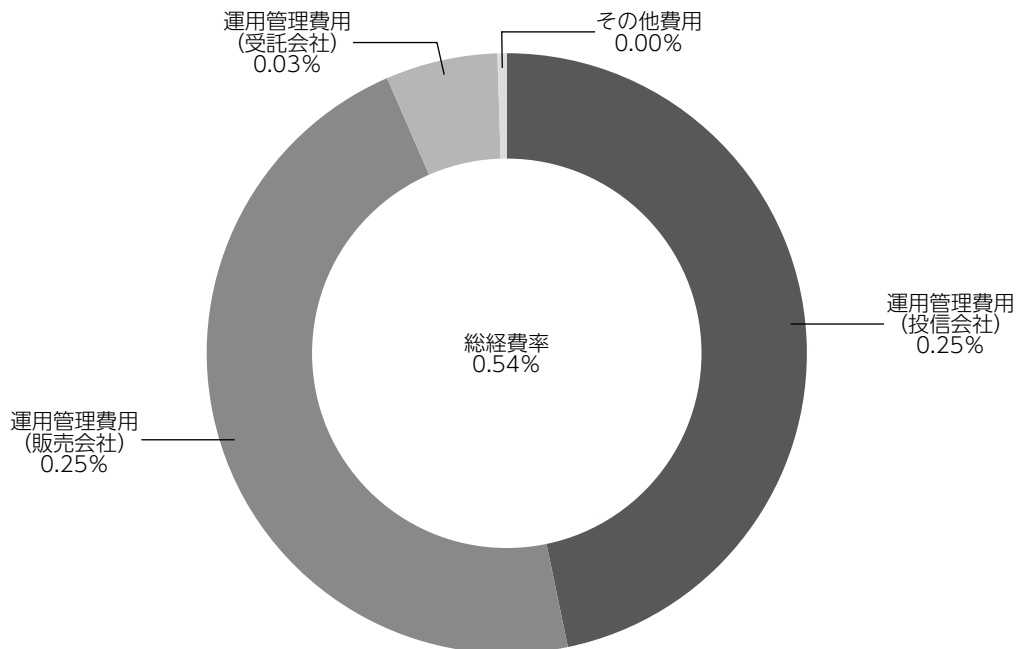
(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.54%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2022年9月5日から2023年1月16日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内社債券	11,858,303	— (—)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2022年9月5日から2023年1月16日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 11,858	百万円 1,190	% 10.0	百万円 —	百万円 —	% —

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	当	期
	買付	額
公社債		百万円 2,500

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	11,900,000	11,639,827	98.0	—	89.8	8.2	—
合 計	11,900,000	11,639,827	98.0	—	89.8	8.2	—

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘	柄	当 期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
(普通社債券)					
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	05/27/2027	1.2500	500,000	485,235	2027/05/27
WESTPAC BANKING CORPORATION	06/08/27	1.2500	500,000	485,314	2027/06/08
11回 B P C E S A 劣後社債		2.4000	500,000	489,965	2032/07/07
1回 HSBC HD PLC 期限前償還条項付劣後円貨社債 (2022)		2.5000	500,000	487,900	2032/09/15
1回 A号 明治安田生命保険相互会社 劣後社債		1.0800	500,000	493,970	2046/12/15
1回 大日本住友製薬 劣後社債		1.3900	500,000	481,550	2050/09/09
日本生命第8回 劣後ローン流動化社債		1.1000	500,000	486,195	2052/09/28
全共連第2回 劣後ローン流動化社債		1.1000	500,000	482,050	2052/10/21
4回 ソフトバンクグループ 期限前償還条項付劣後社債		3.0000	500,000	487,550	2056/02/04
1回 東北電力 期限前償還条項付劣後社債		1.5450	500,000	485,950	2057/09/14
3回 森ビル 劣後社債		1.3600	500,000	491,885	2057/10/11
5回 ヒューリック 期限前償還条項付無担保社債 (劣後特約付)		1.4350	500,000	491,950	2057/10/19
4回 A号 富国生命保険 払込延条項付永久社債 (劣後特約付)		1.0800	500,000	489,900	2077/09/13
1回 武田薬品工業 期限前償還条項付劣後債		1.7200	400,000	406,052	2079/06/06
2回 東京センチュリー 期限前償還条項付劣後社債		1.3800	100,000	101,100	2080/07/30
1回 アサヒグループホールディングス 劣後社債		0.9700	400,000	399,160	2080/10/15
2回 九州電力 劣後社債		1.0900	500,000	480,090	2080/10/15
1回 ENEOS HD 劣後社債		0.7000	300,000	294,570	2081/06/15
1回 三菱HCキャピタル 劣後社債		0.6300	500,000	489,030	2081/09/27
1回 パナソニック 劣後社債		0.7400	500,000	474,970	2081/10/14
1回 関西電力 期限前償還条項付劣後社債		0.8960	500,000	480,300	2082/03/20
5回 三井住友トラストHD 償還条項付永久社債 (劣後特約付)		1.2800	200,000	197,880	9999-99-99
5回 三井住友FG 永久劣後社債		1.2900	500,000	490,300	9999-99-99
5回 みずほフィナンシャルG 劣後社債		1.4400	500,000	494,900	9999-99-99
1回 大和証券G 本社永久劣後社債		1.2000	500,000	495,900	9999-99-99
3回 野村ホールディングス 永久劣後社債 (任意償還条項付)		1.3000	500,000	496,160	9999-99-99
合 計		—	11,900,000	11,639,827	—

(注) 償還年月日が9999-99-99とあるのは、永久債（繰上償還条項付）です。

■投資信託財産の構成

2023年1月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	11,639,827	97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	266,146	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	11,905,973	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年1月16日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,905,973,486円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	228,448,152
公 社 債(評価額)	11,639,827,235
未 収 利 息	34,537,227
前 払 費 用	3,160,872
(B) 負 債	23,613,010
未 払 解 約 金	2,944,200
未 払 信 託 報 酬	20,595,975
そ の 他 未 払 費 用	72,835
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	11,882,360,476
元 本	12,072,764,004
次 期 繰 越 損 益 金	△190,403,528
(D) 受 益 権 総 口 数	12,072,764,004口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9,842円

(注) 設定当初の投資元本額は10,067,231,980円、当期中における追加設定元本額は2,021,526,668円、同解約元本額は15,994,644円です。

■損益の状況

当期 自2022年9月5日 至2023年1月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	49,628,972円
受 取 利 息	50,027,582
支 払 利 息	△398,610
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△218,353,748
売 買 益	5,868,389
売 買 損	△224,222,137
(C) 信 託 報 酬 等	△20,688,142
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△189,412,918
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△990,610
(配 当 等 相 当 額)	(△5,416)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△985,194)
(F) 合 計(D+E)	△190,403,528
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△190,403,528
追 加 信 託 差 損 益 金	△990,610
(配 当 等 相 当 額)	(△5,416)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△985,194)
分 配 準 備 積 立 金	28,940,830
繰 越 損 益 金	△218,353,748

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,940,830円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	28,940,830
(f) 1万口当たり当期分配対象額	23.97
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。

《お知らせ》

■当ファンドの信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、ポートフォリオ構築完了時点^{※1}における、組入債券の平均最終利回り（年率）^{※2}の水準に応じた次に掲げる率を乗じて得た額となります。

（※設定日よりポートフォリオ構築完了日から起算して3営業日目までの信託報酬率は、上記によらず、年率0.341%（税抜0.31%）が適用されます。）

1. 平均最終利回り（年率）が1.1%以上の場合…年率0.539%（税抜0.49%）
2. 平均最終利回り（年率）が0.9%以上かつ1.1%未満の場合…年率0.473%（税抜0.43%）
3. 平均最終利回り（年率）が0.8%以上かつ0.9%未満の場合…年率0.407%（税抜0.37%）
4. 平均最終利回り（年率）が0.8%未満の場合…年率0.341%（税抜0.31%）

当ファンドの信託報酬率は、年率0.539%（税抜0.49%）に決定いたしました。（2022年10月21日よりファンドの償還日まで適用されます。）

（ご参考）

- ・当ファンドのポートフォリオ構築完了日：2022年10月18日
- ・2022年10月18日時点の組入債券の平均最終利回り：年率1.44%

- ※1 投資対象債券の組入比率が信託財産の純資産総額の95%以上となり、委託者がポートフォリオの構築が完了したと判断した時点。
- ※2 平均最終利回りとは、各組入債券の最終利回りを各購入金額で加重平均した値であり、最終利回りとは、債券を購入し満期償還または繰上償還まで保有した場合^{※3}に得られる収益の債券購入金額に対する割合です。
- ※3 繰上償還条項付債券（あらかじめ複数の時点で繰上償還できる条件が設定されている債券）の場合は、初回の繰上償還可能日を償還日とみなして算出します。